

【全体概要】

沖永良部地域では、1～5月にかけて無加温栽培によるトルコギキョウの冬春期出荷及び2度切り栽培(1～2月出し+4～5月出し)が行われている。当地域では多品種が栽培されているが、特性が不明な品種が多く、適品種の絞り込みや導入が遅れている。そこで、地元で組織された研究会を中心に適品種及び2度切り栽培に適した品種の選定に取り組み、地域全体の産地振興を図る。

新品種・新技術等の概要

○品目名：トルコギキョウ

○実証内容

- ①冬春期2度切り栽培技術
(1～2月出し+4～5月出し)
- ②適品種の選定及び普及



実証中のピンク系品種

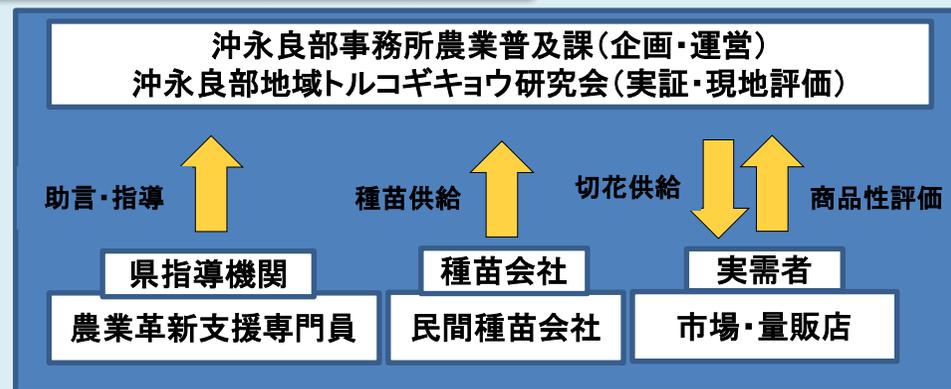


2度切り栽培に適する品種

主な取組内容

- 適品種の選定及び普及
現地事例把握、栽培指導、品種選定会議
- 新品種及び2度切り栽培適応性の実証
品種比較実証
- 産地情報収集、市場ニーズ等調査

実施体制図



実績と今後の展開

①生産実績

沖永良部地域トルコギキョウ研究会会員の全員が2度切り栽培に取り組んだ。

適品種及び2度切り栽培に適した品種の普及が進み、出荷本数が増加した。

540千本(R1) → 587千本(R2)

②適品種の選定

実証で選定された9品種が地域に導入され、安定生産できる品種が増えつつある。今後は、市場ニーズも取り入れた品種の選定を継続し、産地振興を図る。